

令和3年度広島県公共図書館協会特別研修

学校連携事業  
『ライブラリー』事例発表

三原市立中央図書館

1

## 学校連携の始まり

### \*POP作成、展示の依頼

学校図書館のリニューアル事業に力を入れている広島県立三原東高校の先生より、生徒が作成したPOPを図書館で展示できないか



## 高校生による『青少年コーナーの棚づくり』

学校連携を進めていくうえで、以下のことを目標に作成を企画

### \*三原市立図書館の目標

1. 中高生世代が図書館や図書に対する関心を深めるきっかけをつくる
2. 公共図書館と中高生世代とのかかわりをつくる
3. 本の配置や公共図書館での選書について改めて学習してもらい、今後の利用につなげたい
4. 公共図書館に所蔵する本を自分の好みではなく他者の利用について想像する

3

## 三原東高校にて講話

### ①公共図書館の仕事、十進分類法について

### ②選書について

### ③展示、POPの作り方について



4

## 講話 ①公共図書館の仕事 十進分類法について

- 公共図書館と学校図書館の違い  
公共図書館 = “図書館法”を受けて生涯学習を目的に設置  
学校図書館 = “学校図書館法”を受けて児童・生徒、教職員の学習などの学校教育を充実することを目的に設置
- 司書の仕事
- 十進分類法  
三原東高校では三原市立図書館とは別の十進分類法を利用していたため、日本十進分類法を改めて説明

5

## 講話 ②選書について

- 選書とは  
選書  $\sum$  自分の欲しい本を選ぶ  
蔵書の全体のバランス、利用頻度、個人的な関心や好みに偏っていないかなど、客観的な視点から、資料収集方針という各々の図書館が地域性に考慮した一定の方針のもと、判断が必要
- 三原市立図書館の資料収集方針

6

## 講話 ③展示、POPの作り方

- 展示とは  
図書館にはこんな本もある！という新たな発見のきっかけになるもの  
季節の行事、ニュース、イベント情報などからテーマを決め、そのテーマに沿って様々な視点から本を集めることが大切
- POPとは  
「おススメしたい本を紹介するためのカード」  
“読んでみようかな”と思ってもらえることや、自分の伝えたいことが『伝わる』ように書くことが大切

今回の大きなテーマ「仕事」に決定

7

## 実際に本を選ぶ

三原東高校にて  
インターネットや、図書館で実際に使っている“新刊案内”などの  
選書ツールを活用し、生徒同士相談しながら選書

- ※実際に興味のある仕事について  
事前に“学んでおきたいこと”や“今知りたいこと”などの観点から  
同年代の学生のために「**どんな本なら役に立ちそうか**」  
「**読んでもらえるのか**」を考えながら、自由な発想で本を選択

8

## 本の選定

- 実際に高校生に選んでもらった本を、図書館側の視点から改めて選定
  1. 出版年が古く、流通していないもの
  2. kindle版のみのため、手に入らないもの
  3. 三原市の図書館としては購入が難しいもの  
などの理由から選定を行った

9

## 『ライブラリー』作成

- 『ライブラリー』とは  
英語で図書館を意味する「Library」とイタリア語で仕事を意味する「lavori」を一つにした造語で、生徒が考えた名称  
“高校生活というのは、自分たちの将来を模索する場である”という考えのもと、自分たちの目指す仕事や職業について、より具体的な情報を得ることができる本を中心に選書  
冊作成の際には、それぞれの仕事ごとにPOPを作成し、POPに見合った本を並べて展示



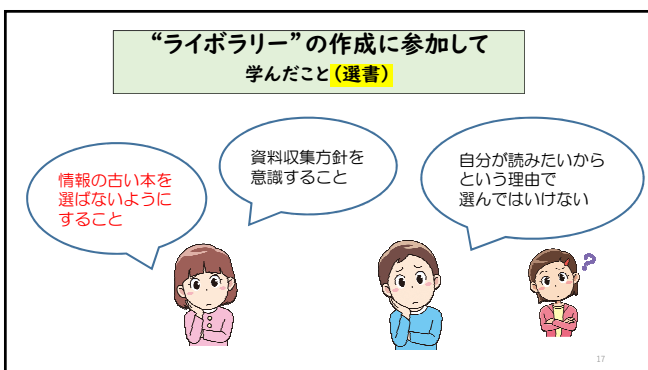
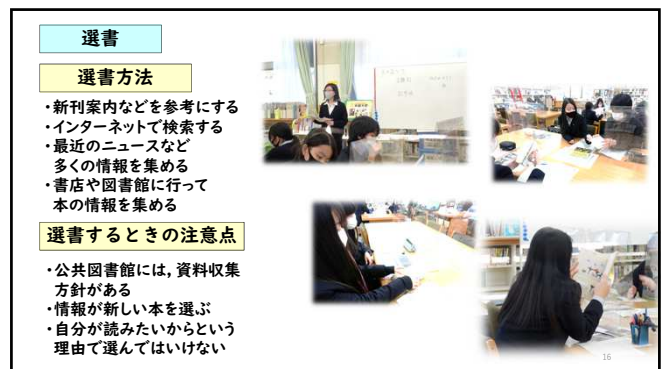
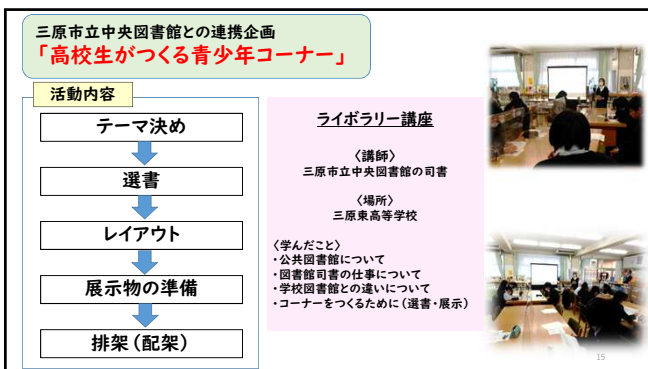
## 完成式

- 『ライブラリー』前にて  
三原東高校の校長先生にも参加いただき、これまでの成果や感想などを代表の生徒より発表、記念撮影



## 広島県立三原東高等学校 三原市立中央図書館連携企画





**レイアウト・展示・配架**

「ライボラー講座」でPOPの作り方を教わりました。

POPの色の組み合わせ方や、いろいろな形があることを知りました。

棚全体のレイアウトや、本の置き方を教わりました。

本の展示のしかたを学びました。

19

**三原市立中央図書館  
(棚を飾る)**

本の内容別に排架（配架）をするため、「内容を示すためのPOP」を手書きしました。イラストにもこだわりました。

棚飾りも置きました。すべて手作りです！

私たちがつくったコーナー『ライボラー』

三原市立中央図書館2階にあります。

ライボラーコーナーについて  
ライボラーとは、ライボラー講座で作ったPOP（本の紹介カード）を、本の内容別に排架（配架）して展示するコーナーです。POPには、本の表紙や内容、著者などの情報を掲載し、イラストにもこだわりました。また、POPの色や形も自由に選べます。ライボラーコーナーは、本の紹介だけでなく、読者の興味を引くための効果的なツールとして活用されています。

**“ライボラー”の作成を終えて**

おすすめの本を読んでもらえる楽しさを感じた。

達成感でいっぱい！

今まで手に取ることがなかった本について、知ることができた。

情報が必要な人に寄り添った選書ができたかな？

時間がとれなくて、大変なときもあったけど、みんなと一緒に作って嬉しかった。



**三原市立中央図書館との連携企画による成果と課題**

三原市立中央図書館との連携企画による成果と課題

(1) 成果

生徒：

- ・相手の立場に立って考える力がついた。
- ・調べる力がついた。
- ・読書に親しむきっかけができた。
- ・達成感を高め、自己肯定感の向上につながった。

25

学校：

- ・教職員が公共図書館と連携しやすく、相談しやすくなった。
- ・生徒が学校図書館を利用するきっかけができた。

25

公共図書館から借りた図書の活用

図書を活用した授業

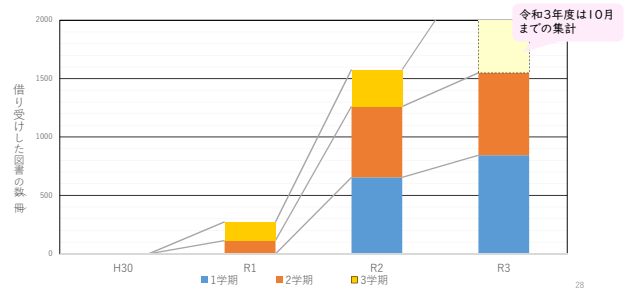


図書を学校図書館に展示



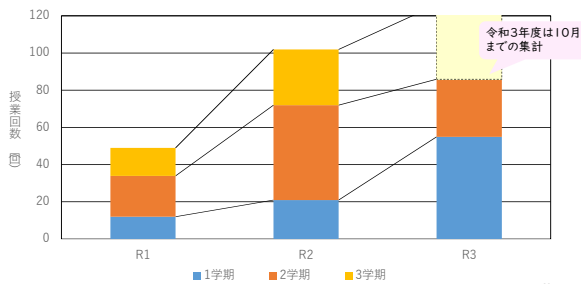
27

公共図書館から借り受けた図書の数の推移



28

学校図書館を利用した授業回数の推移



29

生徒の成果物の展示

本のPOP



地学基礎演習



30

三原市立中央図書館との連携企画による成果と課題

(2) 課題

生徒・教職員:

- ・生徒の作業時間の確保

31



32

一年間の集大成として

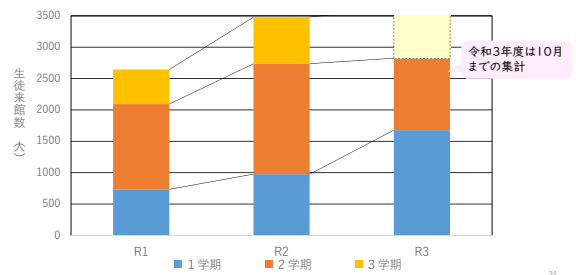
三原東高生がつくるコーナー  
『ライブラリー』



新しいテーマ  
で選書中!



三原東高校学校図書館 生徒来館数の推移



34

連携事業をとおして

生徒:

- ・本に親しみを持ち、図書館が身近になった。
- ・相手の立場に立って考える力がついた。
- ・達成感を高め、自己肯定感の向上につながった。

教職員:

- ・学校と公共図書館とが、連携しやすく、相談しやすくなった。

35

連携事例から学ぶ

- ①学校連携の一つとして「選書」という活動を！
- ②活動の過程でのコミュニケーションを！
- ③連携の計画と年間行事計画との調整を！

36

学 校

公共図書館



37